

患者用クリニカルパス【幽門側胃切除術を受けられる方へ】

経過	入院～手術前日	手術前日	当日の手術前	当日手術後	術後1日目	2～4日目	5～7日目	8～14日目
処置		お臍のケアや必要時、毛そりをします 	手術の前には ○洗腸をします	病室に帰ったら、酸素吸入や心電図等のモニターを装着します 背中から痛み止めのチューブが入っています	朝、酸素やモニターを外します			退院できます
処方 (内服)	薬の内服は主治医の指示に従ってください	昼食後に下剤を服用します 希望があれば寝る前に睡眠薬をお渡しします	○洗腸後、弾性ストッキングを着用し、術衣に着替えます 	鼻から胃チューブが入っていることもあります 定期的に創の消毒を行います 			7日目頃に糸を抜きます 食事開始後にお腹の管をぬきます 必要時、内服薬が出ます	
注射			○手術前にトイレをすませておいて下さい 	点滴のチューブが入っています 抗生剤の点滴を投与します 				
検査	手術前に必要な検査で、外来で済んでいない検査等があれば行います		○義歯や指輪などは取りはずして下さい	血液検査・レントゲン検査をします 	血液検査 レントゲン検査をします 			透視検査をします
観察	身体計測や体温・血圧等を測ります		手術室へ看護師と共に歩いていきます	血圧等を定期的に測定します 創が痛む時は鎮痛剤を使用します 	経過に応じて体温測定や創部の確認、ガーゼ交換を行います 			
食事	潰瘍食です 	夕食以降は絶食です  翌朝飲む経口補水液をお渡しします	絶食です  手術の2時間前まで水分は飲めます 		手術後の経過に応じて水分～食事が開始されます 食事は流動→三分粥→五分粥→全粥と変わります 三分粥以降は一日6回食です 朝・昼・夕食は2分の1量、 10時・15時・19時に補食が出ます。			
安静度	制限はありません 風邪をひかないよう体調を整えましょう 手術前夜はゆっくりと睡眠をとってください			翌朝までベッド上安静です 横向きにはなれます 手足は自由に動かして下さい	翌朝から合併症予防のためがんばって歩きましょう 			
排泄	制限はありません 			翌朝まで尿の管を入れておきます 	朝、尿の管を抜きます 			
清潔	入浴できます (入浴日の設定があります 看護師にお聞きください)	手術前日は、曜日にかかわらず、入浴できます		洗面やうがいはお手伝いします	体を拭くタオルをお渡しします 必要時看護師がお手伝いします		*経過によりシャワーに入れます	
説明 その他	主治医がご本人・ご家族に手術について説明し、同意書にサインしていただきます 麻酔科医が麻酔について説明します 看護師が ・入院生活について ・手術前の準備や手術後の経過等について説明します (パンフレットをお渡しします)		手術室はA棟3階です ご家族の方は手術開始までにお越しく下さい。 手術中は、手術室横の家族控室でお待ちください 手術直後から翌朝までは、観察室又は個室に移動します	医師から手術結果について説明します 看護師が手術後の注意事項等について、状況に合わせて説明します  	水分・食事を開始する時は、看護師から手術後の食事方法について説明します 必要時、薬剤師から薬の説明があります 栄養士から栄養指導があります			退院時、 外来受診や 内服の継続 等について 説明します 

※病状・経過により、予定が変更になる場合があります。

※何かわからないこと、疑問に思われることがあれば、お聞きください。

※手術までにご準備下さい。 ①寝巻き (無ければ手術着貸し出します)

②T字帯 ③バスタオル ④吸い呑み (または曲がるストロー)